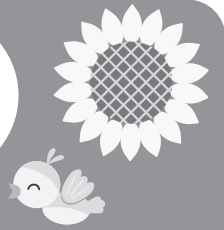


# 保育ひろしま

## すかんぼ



Vol.89



発行人  
一般社団法人広島県保育連盟連合会  
代表理事会長 柄崎 佳之



代表理事会長 柄崎 佳之

### 「コロナ禍の対応について」

お見舞い申し上げます。

2019年12月頃から、中国湖北省武漢市を中心に発生した新型コロナウイルス(COVID-19)は、当初は局地的なものでしたが、年明けから徐々に日本にも感染者が現れ、短期間で全世界に広がりました。

2月下旬に発表された3月からの全国一律休校や、4月に発表された緊急事態宣言などで、保育現場も混乱の中での対応を迫られました。インフルエンザウイルスのように「梅雨になれば…」、「夏が来れば…」という願いもむなしく、燃り増え続けながら冬が来ようとしています。その間、あらゆる場面で業務が増えたり、対応に苦慮することが増えたりしていることもあると思います。誌面を借りて謹んでお見舞い申し上げますとともに、不安の中で精一杯子ども向き合っている皆さま方や、それぞれの立場で責務をこなされている全ての方々に敬意を表します。

### 広島県保育連盟連合会の対応

緊急事態宣言を受けて、協議員総会を前面表決とし、委託事業である保育士就職ナビの説明会を中止して

冊子作成のみとしました。また、保育事業研修大会の大会事業も中止しましたが、キャリアアップ研修に必須の分科会のみを延期して代替え実施することに決定しました。

しかし、県をまたぐ移動自粛要請も解除された7月16日の保育特別講座以降は、キャリアアップ研修・マネジメント研修・夏季保育研修会など、広島県の基準に則って衛生管理に充分気をつけながら開催しています。(詳しくは誌面の子育てノウハウBOXをご覧ください。)

「感染者が増えている状況下の中で、都市部からの講師を招聘する研修はすべきではない。」などの意見もあることは承知していますが、それよりも「広島県が緊急事態宣言を再発令していない状況では、会員の『研修を面授で受講したい』という願いを優先すべきで、それこそが広島県保育連盟連合会の存在意義である。」という役員会での決議に基づく決断です。

当会といたしましては、引き続き全国や広島県の基準に従いながら研修を続けていきますので、会員の皆さまもご自身で受講の可否を判断していただきたいと思います。また面授の研修を補完するものとしてのリモート聴講の道も模索していきたいと考えています。

### 保育を見直す契機に

マイナスイメージが目立つコロナ禍の対応ですが、良いこともありま。世間でも言われているようになり、節約はもちろんです。保育現場においても「行事」「日々の保育」「ねらう」「取り組み方法」等につ

いて、(強制的にはありませんが)再考する契機をいただいていることです。

卒園式、入園(所)式、参観日、運動会、発表会などの大きな行事や、遠足や誕生会などの園内行事をどのように開催するか(または中止にするか)、保護者や地域との連携をどのように図っていくか、マスクを付けた状態で低年齢児との信頼関係をどのように構築していくかなど、今まで当たり前のように続けてきたことを見直すことになったり、新たに配慮していくことが増えたりしています。

これらの作業は困難で、苦痛でもあると思います。しかし、ただ漫然と「毎年しているから…」と、実施方法などを深慮することなく続けているだけでは気づかないことを考えるチャンスでもあります。さまざまな制限のもと、「どこまでならできるか」「これまでとは違うどのような方法であれば、ねらいを達成できるだろうか。」などと思考していくことは、保育を高めていく上で重要な大切な過程で、この思考工程は「コロナ禍後でも有意義に活用できると考えています。」

### ねらい

目には見えないウイルスへのゴールが見えない対応は、保育者も気が滅入ることが多いものです。しかし、子どもたちの方がより多くのストレスを抱えているのではないかと思います。ついつい下を向きがちになりますが、しっかりと前を向いて子どもを見つめ、子どもたちの笑顔が少しでも増えるようにとがんばっていきましょう。

「魅力ある保育士・保育教諭になるための『自己評価』の発行準備をしています」

当会は「研修を目的意識を持って計画的に受講していただきたい」との思いから、平成31年に広島県「保育士・保育教諭キャリアデザイン」(以下「キャリアデザイン」)を発刊いたしました。同著の中で、研修を受講する姿勢や将来になりたい自分を再確認するために、自己を客観的に見つめるための項目を設けましたが、「自己評価」という側面のみで見ると、更なる充実の余地がありました。

そのため引き続き、「キャリアデザイン」の自己評価部分の内容を一層具体的なものとした「魅力ある保育士・保育教諭になるための『自己評価』」の発行準備に取りかかりました。

「コロナ禍」中、会議の開催もままならないため当初の予定からは遅れましたが、小川益丸顧問、松岡万里子委員長を始めとした検討委員会の皆さまの精力的なご尽力のおかげで、今年度の発行ができる見込みです。

詳しい内容は今年度2回目の発行のすかんぼで小川益丸顧問にご寄稿いただく予定です。この中で、保育士・保育教諭の資質向上の一助として、「キャリアデザイン」と同様に導入のご検討をお願いいたします。

# 夏季保育研修に学ぶ

とき 8月20日・21日  
 ところ 1日目：JMSアステールプラザ中ホール  
 2日目：「Aコース」広島県健康福祉センター  
 「Bコース」県社会福祉会館

さる八月二十日・二十一日、JMSアステールプラザにおいて、参加者170人余りが一堂に会して『実践を通して教育・実技を通じた総合的な教育・保育実践と多様な子どもたちへの具体的なかわり方を安全に配慮した環境で実践力を高める』というテーマのもと研究討議を重ねた。

二十日の午前は「児童虐待への対応」を広島県西部子ども家庭センター課長の松岡良治氏より、午後は「心と体の危機管理」を日本赤十字社中四国ブロック血液センター所長の小林正夫氏の講演を聴き、有意義な学びとなった。

二十一日の三つのコースでは、それぞれ専門の先生による具体的な実践と講演をいただき、専門性を高める研修となった。本紙面では、コース別の研修内容を記載します。



**Aコース**  
**「手指・体を使った楽しい遊び」**  
 ……  
 あそび工房ゆめみ  
 主宰 南 夢未

昨年までは実際に動いて、参加者同士が触れ合いながら学んでいたが、今年度はコロナ禍のなかでの研修となり、スクリーン形式での学びとなった。

## ○実践から学ぶ

### 実践1 手遊び・歌遊び

歌に合わせて、右手・左手を交互に動かすことにより、右脳と左脳の連動ができるようになる。また、手首、足首という首のつく部位を回すことで関節が柔らかくなり、体調が良くなる。

遊びのなかで子ども自身が考える場面を作れるよう、保育者が発信し、子ども達の発想を取り入れて遊びをアレンジすることで、遊びが楽しくなり主体的な活動となる。

\*友だちとふれ合う歌あそび紹介  
 「こんでったバナナ」



バナナのかわいいポーズの伝言ゲームです。でも、食べられちゃったり、飛ばされちゃったりするので気を付けて！  
 (夏季保育研修会資料67・68ページ参照)



### 実践2 折り紙や紙皿などの素材を使う たのめちゃっくり

作ったもので遊ぶ場合、遊び方の提示はするが、遊び込んでいくうちに年齢によって変化していく。遊びは変わっていくから面白い。

### \*ぐるりんスライドあそび紹介

「アトムシくん大変身」  
 カード2枚の切り込み同士を重ね、スライドさせてあそびます。



(夏季保育研修会資料73・74ページ参照)

### 実践3 カードゲーム

カードゲームは、勝ち負けによる悔しさから立ち直るということが大きな目的ではなく、言葉を育み、作り出す遊びとして捉えている。

- ①カードが一枚でも無くなると、遊びができなくなるので大切に扱う。
- ②ゲームには、ルールがある。
- ③ゲームは勝ったり負けたりする。一生懸命しているのになぜ負けた、負けたということがわからない子、意味が

分らない子には、その意味を伝えていく。アナログなカードゲームは、知育・順番を待つ・勝ち負け、という要素が入っている。  
 言葉・数・色などに自然に触れられるカードゲームは、療育の視点から見直されており、世代を超えて使っていける。

### ○アドラー心理学に基づいた保育学

過去のトラウマを今の状況の原因にしない。親としては、子どもと付き合う時、過去のことを言われると「はい、あなたはこの子に何ができますか？」と今できることを考えるというのがアドラーの考え方である。

### ※楽しく育てる。「褒めず、叱らず、勇気づけ」

何か起きた時、子どもにかけて欲しい言葉は「大丈夫よ」それは「落ち着こっね」の意味になる。現状を伝え、気持ちを代弁しながら、子ども自身が対処法を考えられるようにする。マイナスに着目しないで、プラスに着目することは大切だが、オーバーに褒めるよりも勇気づける声かけが大事である。失敗を対処できた子は、自分で考えることに自信がつく。

### Bコース 「特別なケアを必要とする子どもの保育」

……  
 親と子どもの臨床支援センター  
 帆足 暁子



○特別なケアを必要とする子どもたちが全国的に増えている現状の理解  
 コロナ禍のなか、発達障がいをもって

いる子どもも、自粛などで家庭での保育が必要になっている。発達障がいの子どもの生活の大変さから虐待につながるケースも少なくない。

昔は明らかに目に見える障がいの子に対して、知識を学べば保育が成り立っていた。ところが発達障がいの子が増え、他の子より優れている姿があるのに、普通に行うことができないなど、見た目では判断することが難しいなかでの保育が求められている。

現在、神経発達障がいの子どもが多くなってきたといわれている。また、発達障がいと行動特徴が似ている愛着の関係性障がいの子どもも増えている。

### ○特別なケアを必要とする子どもが増えている要因

#### (遺伝的要因)

発達障がいとは、生物学的基盤によって起こる中枢神経の機能障がい。遺伝子レベルの異常や、胎児期、乳幼児期に起きた器質的要因といった生物学的要因に起因する脳の発達障がいであり、遺伝要因が強いものを指す概念である。養育要因などの心理社会的要因によって起きた発達の問題は、発達障がいには含めないというのが本来の定義だが、実際には症状からだけでは見分けが難しく、環境要因のケースも発達障がいと診断されている。

育てられ方が大きく影響している気になる子どもも親も気になる。それが遺伝なのか、モデリングとしての学習なのかかわからない。  
 (器質的要因)

#### ・学習障がいの要因

胎内から現在までの環境で、重要な原因の一つは妊娠中の飲酒・喫煙・受動喫煙ではリスクが1・6倍に増え、両方重なること2・6倍になる。

・晩婚化の影響・若年出産(父親の年齢も関係)の影響

人間は動物なので生物学的に体が整ったときに出産が自然にできる形になっている。

○養育(心理社会)的要因

虐待・DV家庭・両親不和状態・医療的ケアなど、さまざまな要因から生まれて育つ環境の中で、子ども自身が抱えなくてはならない状況になっている。そのためにも配慮が求められているのが保育現場。

病気や障がいに対して知識があれば、どういふことに気を付ければいいのか分かりやすかったが、今は分かりにくい。いろいろな情報をもとに分析をし、推測して子どもに合わせていかななくてはならない。

○発達障がい(愛着障がい)の子どもへの支援

忘れてしまったり、気持ちが続かないことが多い、叱られることが多い子どもたち、おおらかな気持ちで接することが大事。子どもがわざとやっているわけではない。その子の能力としてその部分が弱いという風に見ていき、どうするかを考えたと思うと、気持ちを大切にしたら関わりがで、信頼関係が生まれる。先生のごが好きになることが先生の期待に応えようとする。

愛着障がいの子どもは、傷つけられた経験が多いため、おとなを信用できず試し行動をする。

愛着障がいは、人と人との関係性のなかで生じていくので、人に対して信頼関係を築いていくのに、親だけでなく療育関係者・保育士・幼稚園教諭など、その子を取り巻くすべての人と関

係性を築くことが大事になってくる。どの人からも自分の気持ちを傷つけられない、どの人からもちゃんと自分を見守ってもらえるという気持ちを子どもが実感するというのが大切。

保育者は、どの子どもも大切にしようとして接しているが、それを決めるのは子ども。子どもは、自分が求めなかったら先生が応じてくれないというところに気づく。子どもが嬉しいのは、先生から求めてくれること。親も一緒。

心が傷ついている親子は、さまざまな問題を保育者に突き付けてくる。保育士の心を傷つけながら、自分をどう受け入れてくれるか真剣に問いかけてくる。故に、保育という仕事は、自分を育てる覚悟が必要な仕事。子どもと共に育つことができる貴重な仕事である。

コース 「季節の素材をいかした食事」

サカモトキッチンスタジオ 主宰 坂本 佳奈



調理実習

○おにぎ

・ごはん(米)は、炊かないと食べられないということを教える

○生麩の煮込み

・高野豆腐や生麩など普段あまりみかけない食材の名前を知る

・にんじんはそのままの形を見せてから調理する

○いわしの蒲焼き

・いわしは包丁を使わず、ハサミ・スプーンで調理できるのでおすすめ

○きゅうりの酢の物

・産地の物をなるべく使うのがよい味の説明をする。(酢はすっぱい・砂糖は甘い・塩はしょっぱいなど)

○甘豆腐

・すり鉢やすりこぎなど、日本独自の調理器具を知る

・すり鉢を使用しているときの音や匂いを感じさせることが大事

○松山あげのみそ汁

・えのきは、アレルギーも少なく子どもの料理に最適

○抹茶蒸しパン

・米粉と豆乳で作るため、小麦粉・牛乳アレルギーの子も食べられる

・ビニール袋一つでできるため、最初に作り方を全部見せてから子どもがするのがよい

○かしわもち

・レンジでお餅が作れることを知る

・一緒に作ることであんなに興味をもつて食べるようになる

\*「食育」をすると好き嫌いがなくなる好き嫌いの原因は、中に何が入っているのか知らないからである。

\*自分が食べられる量を自分で盛り付ける。量が少ないことに関しては、言わない。自分で選んだというように満足感がある。

講義

○子どもの育ちに必要な物

(1) 生きるための食事

(2) 安心な寝場所

(3) 清潔な環境

(4) 愛してくれる人

○子どもは暮らしの中で育つ

子どもを中心にその周りを家庭が取り囲み、学校等施設の関わりを通して地域とつながっていく。そこで様々な体験をしながら、国や世界を知り子ども

の世界は広がっていく。このことから、子どもにとって初めての社会である『家庭』の中で、どれだけの体験ができるか、その体験の有無・多い少ないによりその後の人生が大きく左右される。

○食育は3つの力を育てる

(1) 生きる力(自尊心を育てる)

・基本的自尊心

『自分はこれまでいい』と思えること

・社会的自尊心

『自分は役に立つやればできる』と思えること

(2) 食べる力(身体を育てる)

(3) 料理する力(心も育てる)

○子どもの脳の仕組みと発達プロセス

人間は『聞く力』『言葉を理解する力』を持って生まれてくる。ただし、体験が0%なのでその力を生かすことはまだできない。脳の仕組みに沿った体験の積み重ねにより『言葉(言語化)』→『文字(記録)』という連体の体験が記憶され、『聞く力』や『言葉を理解する力』が生かされてくる。

いくら沢山の本を読んでも体験がないと本当の理解には至らない。体験は自分だけのものであり、誰かに代わってもらえるものでもない。いかにボジティブな体験が沢山できるかがとても重要となる。

○五感を育てる

五感体験だけが脳に残る。食育は五感全てを使う活動。

・みて

・きいて

・さわって

・におって

・あじわって

○「Hands On教育」(いろいろな物を触って感じる教育)

・食体験を自分の言葉にして伝えてみよう

伝える際には、取り締った言葉ではなく、自身の体に染み付いた方言で伝えることが重要で、その言葉は無意識に感情を相手に伝えることができる。

○食は文化である

食育は食事を作って終わりではない。食べ物だけではなく、行事食を通して季節を感じたり、そこに関連する伝承遊びを取り入れたりするなどとして、食文化を伝えることが重要。特にお正月は日本特有の食文化や伝承遊びを伝えやすい行事。是非意識して取り入れて欲しい。

生きる力を育てるのはキッズキッチン体験から！  
五感の体験を大切に！



子どものひらき

「先生！ぼくの家に遊びに来てよ」と嬉しそう誘う。

「ありがと」と言いつけ、

「でも静かに遊んでね。あとケンカもだめだからね」極めつけは「おもちやちは大事に使ってね」...

お母さんについて言われてるんだらうなと思いついてしまいました。

# 子育てノウハウBOX

## ～コロナ禍のなかでの、 保育・研修の在り方を考えてみましょう～

今年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止に向けた対応を行いながら、日々の保育をしておられることと思います。保育所保育指針や幼保連携型認定こども園教育・保育要領に、施設内外の適切な環境の維持に努め、子ども及び職員が清潔を保てるようにする。と記載されています。今回の子育てノウハウBOXでは、コロナ禍のなかで、感染予防をしながら子どもの発達を保障していくための楽しいあそびや生活の環境の工夫など様々な実践を紹介します。また、広島県保育連盟連合会では、県のガイドラインに従って研修会を開催しています。少しでもみなさんが安心して参加していただけるようこの紙面で内容をお知らせします。

### 登降所(園)

- 健康チェック…健康カードに体温を記入  
37.5℃で休む  
医師の指示に従って登所(園)する
- 保護者の入室を禁止…子どもの絵や作品・活動の様子など、玄関や廊下に展示する

新型コロナウイルス対応マニュアル…子どもや保護者、職員とその家族が感染した場合の対応マニュアルを作成する

### 衛生面

- 換気…窓を少し開け冷暖房を使用  
扇風機を常時使用  
気温・湿度をチェックする
- ハンカチ…2枚持って来て、午前と午後で使い分ける
- マスクの管理…衛生的に自分で管理できる工夫
- トイレ…密にならないように時間の工夫
- 手洗い…足形マーク  
水道は1カ所ずつ空けて使用する



間隔が意識できる工夫  
使用できない水道には×マークがついている



## 新しい生活様式 With コロナ 保育所(園)での一日

### あそび

- コーナーの設置…  
あそびの環境工夫で密を避ける  
廊下やホールを活用する
- 座り方…  
向き合う活動を減らす
- パーソナルスペース…  
床にテープやマークを貼ると自然と意識できる



\*子どもの発達に必要な活動は何かを考え、できる範囲で工夫しながら保障する。



広い廊下やホールでのあそびのコーナー

### 午睡

- 換気…窓を少し開ける
- 布団の間隔を広くとる

### 食事

- 机に「おへそのしるし」…  
しるしにお腹を合わせて座ると、  
自然に間隔が保てる
- 手作りパーテーション…  
飛沫防止対策



\*咳エチケットや大声を出さない、  
唾が散らないようにマナーを知らせることも大切

### 《子育て支援》

- 施設のスペースに合わせて、利用者の人数制限をする
- 受付で、体温・体調のチェック・消毒・利用者の住所と名前を記入する
- 保護者にできるだけ間隔をあけて遊んでもらうようお願いする
- 1時間の利用制限をする
- 入口と出口を決める
- 換気と消毒をする
- 消毒ができない玩具(布製)は使用しない



### 《行事について》

- 《入所式(園)》
  - 参加人数を制限
  - 時間を短縮
  - 全体で集まらず、各クラスでする
- 《遠足》
  - バス遠足は中止
  - 遠足ごっこを楽しむ
- 《運動会 発表会》
  - 年齢ごとに日を分ける
  - 同一日に時間を区切り、入れ替え制
  - 保護者の参加人数を制限し、指定席にする
  - 参加者リストを作成(体温・体調・県外移動の有無など記入)
  - 無観客でDVD撮影にする
  - 各クラス単位でする
- 《誕生会》
  - ホールや遊戯室など、広い場所で間隔をあけて椅子に座る

### 《保護者対応～安心してもらうために～》

- 様々な行事が中止になり集団での子どもの様子が見えにくく不安
  - 一日の活動の様子を、便りや写真を使って掲示して知らせる
  - 子どもの絵や作品を、玄関の壁面や廊下に展示すると、気軽に見られたり子どもと保護者の会話につながったりする
  - マスクを着用し間隔を保ったうえで、一日の様子を伝える
- 行事の見直しや、それに変わる活動の説明を丁寧にする
- 保護者には、入室を遠慮してもらう
  - 必要の場合は、マスク・消毒・検温を実施してもらう

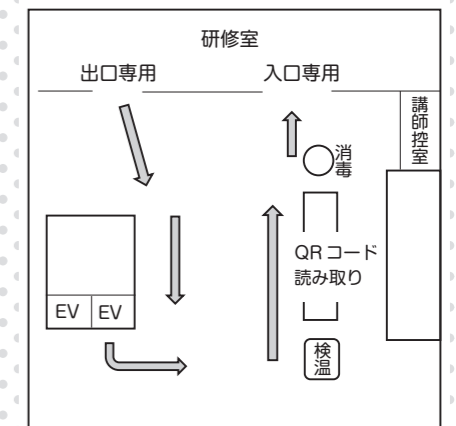
### 《広島県保育連盟連合会の研修会における感染防止対策について》

- 受講者に受講票の送付時に、注意事項とお願いを配付。受講者一人ひとりが、対策をとって意識をもって参加するよう依頼。
- 研修会場では、受付前にも検温や消毒を行う。
- 再度『感染防止対策について』のチラシを配付し、口頭でもお願いをする。
- 受講者は決められた動線に従い、入室・退室する。
- 席はあらかじめ指定し、密にならないようにする。
- 1時間ごとに休憩をし、窓を開けて換気をする。

(広島県の対処方針に基づく)

\*全ての研修会場で、それぞれの規模や配置、参加人数などを考慮して、衛生管理に充分気をつけながら研修を行っています。

(例：広島県健康福祉センター大研修室の会場案内図)



→ 受講者の動き

ペットボトルを利用した、マスク入れ

牛乳パックの1面を切ると、帽子も入れられる



テーマ 免疫力を高める食事  
〜感染症に負けない体をつくろう〜

新型コロナウイルス感染症対策の自粛により、食育計画も延期や中止など、十分な取り組みができない状況にあります。しかし、こうした状況下だからこそ、食事を通して感染症に負けない体づくりについてしっかりと考えていかなければなりません。

今号では、「免疫力を高める食事」に取り組んでいる実践事例を紹介いたします。

### コロナ禍での食育の取り組み

体内の活性酸素を減らして血流を良くし、腸内をキレイに保つことが免疫力を高めることに繋がると言われています。伝統製法の調味料を使用し、砂糖は極力減らし、自然農法の野菜や豆類、きのこ類・海藻などの食材を多く使ったメニューを紹介いたします。



青菜の納豆和え  
寒天入り

**納豆**  
血液をサラサラにして血栓予防に



豚の番茶煮

**番茶**  
カテキンの抗菌・抗ウイルス作用

梅干し作り



味噌作り



味噌と梅干しは毎年長男たちと手作りしています。自分たちの手で作ることで食材への興味が増し、幼少期のこの体験がこれからの生活の基盤になればと願っています。

汁物や炒め物にはきのこ類・豆類が入ります

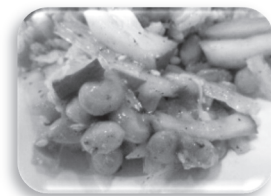


みそ汁



五平餅

**味噌**  
大豆・麹・塩のみでじっくり発酵させた味噌の旨味（アミノ酸）で元気な体に！



きゅうりの梅納豆あえ



梅うどん

**梅干し**  
抗酸化・抗菌作用・血栓防止・胃腸の調子を整える

新型コロナウイルス感染症予防を行いながらも子どもたちの心身の発達に必要な不可欠なところを見極め、その時々で対処法を考えながら園での食生活を支えたいです。

#### 豚の番茶煮

《材料》

- 豚肩ロースかたまり肉 56g
- 番茶の茶葉 0.4g
- 湯 適宜加減
- 味付き番茶用 ④
  - 番茶の茶葉 0.27g
  - 塩 0.1g
  - 砂糖 0.6g
  - 酒 2.4g
  - みりん 2.0g
  - しょうゆ 2.0g
- 片栗粉 適量

→④は、2回分必要です。

《作り方》

- 茶葉0.4gと湯で番茶を作り、豚かたまり肉をゆでて、ゆで汁は捨てる。
- 味付き番茶用④と湯で味付き番茶を作り、①の肉を20分煮て、そのまま冷蔵庫で一晩冷ます。
- 翌日、②と同じ味付き番茶を作り、②に足して肉を煮て、そのまま冷蔵庫で一晩冷ます。
- 翌日、肉を煮直し、煮汁から取り出して冷まし、薄く切る。残っている煮汁は片栗粉でとじて、肉にかける。

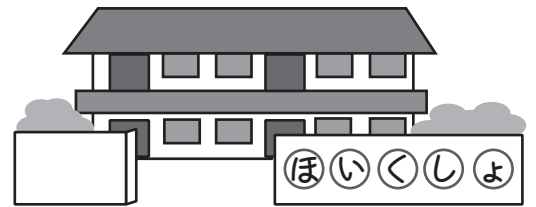
#### 梅うどん

《材料》

- ゆでうどん 130g
- 梅干し 1.9g
- 生揚げ 6.0g
- えのきたけ 4.7g
- たまねぎ 9.6g
- にんじん 9.3g
- キャベツ 7.1g
- 葉ねぎ 2.1g
- 切り干し大根 0.7g
- 金針菜 0.3g
- こんぶ（だし用） 0.2g
- いわし（煮干し） 0.2g
- かつおぶし 0.3g
- 塩 0.5g
- しょうゆ 1.0g
- とりもも肉 16.4g

《作り方》

- うどんはゆでる。
- 梅干しは、種をはずして細かくたたく。種は、だしパックに入れておく。
- 鍋にえのきたけ、たまねぎ、にんじん、戻した切り干し大根、戻した金針菜、生揚げ、種の袋の順に入れる。
- 上に塩を振り、だしをひたひたに注ぎ、鍋の蓋をして重ね煮にする。
- 具が柔らかくなったら、フライパンで炒めたとりもも肉を加える。
- キャベツも加えて、しょうゆで味付けをする。
- 種の袋は取り出す。
- 葉ねぎ、②の梅干しを加えて、汁のできあがり。
- 器に①のうどんと⑧の汁を盛り付ける。



HOT INFORMATION

ホット  
インフォメーション

みなさまはじめまして。県庁安心保育推進課の平田です。施設整備の補助金や、指導監督業務を担当しています。今回は、私が昨年度から担当している、認定こども園や保育所への指導監督を通じて感じたことなどをいくつかご紹介いたします。

保育現場でのICT化

認定こども園や保育所へ監督に伺うと、「ICT化(って、業務負担に軽減になるの?)」ということがよく話題にのびります。保育現場でのICT化って、具体的にイメージできますか? 僕は、指導監督を通じて実際に聞き取るまで、なかなか具体的にイメージできませんでした。

保育現場でのICT化された業務って、具体的にどんなものでしょうか。思いだせるままに並べると、①毎朝夕の登降園の管理、②保育計画や指導要録の作成、③勤務時間や年次有給休暇の記録、④保護者との連絡などは、少なくない園で取り組んでいると感じます。

「ICT化」と一口に言っても、上記の①~④だけ見ても、それにより職員の方が受ける恩恵や、初期投資、職員一人ひとりの仕事の仕方の変化が大きなもの(システムと設備の導入が必要なもの)から、手軽にできるもの(アプリ、エクセルを使うもの)まで、実に様々な感覚があります。

ICT化と働き方改革

ところで「ICT化」って、いわゆる働き方改革につながるのでしょうか。ICT化は、多くの場合、多かれ少

なけれ、それまでの仕事の仕方に変更が加わります。また、新しいシステムやアプリの理解、パソコン操作など、覚えなければならぬことも少なからず生じます。そうしたとき、職員の間でも、「これを覚えて何になるの?」「パソコンより手書きの方が…」保護者への周知が大変…」といった、ICT導入に伴う戸惑いは、多くの施設で生じるようです。

紙幅の関係で詳述できませんが、多くの場合、ICT化を成功に導くためには、長期的かつある程度綿密な計画と、根気強さが必要な気がします。

具体的には、①ICT化する目的とICT化する内容(ICT化した後の業務の全体像)を明確にすること、②職員や保護者の理解を得るために、管理職者が根気強くコミットすること、③移行期間中の職員のサポートを充実させること、などは多くの施設で苦心されていました。

そついつ意味では、ハードルは必ずしも低くはないのかもしれないが、それぞれの業務に関する負担軽減に一定程度寄与しているという声もたくさん耳にします。

ぜひ、多くの方に挑戦してみたいです。

保育所における自己評価って?

保育所では、毎年度「自己評価」を行い、結果を公表することが義務付けられていることは御存じですか? 広島県でも、令和2年3月に策定した「ひろしま子供の未来応援プラン」において、「すべての保育所が自己評価を行っている」ことを目標に掲げました。た

だ、どのよう自己評価をすればよいのかわからない、どのような自己評価なら、やりがいを感じられるのか、といった声をよくお聞きします。

自己評価ガイドライン

厚生労働省では、保育所の自己評価を行う際の指針として平成21年3月に『保育所における自己評価ガイドライン』を定め、今年3月におよそ10年ぶりの改訂を行いました。

このガイドラインには、保育所における自己評価の基本的な考え方や具体的な流れなどが例示されています。このガイドラインによれば、例えば「年度末に園長先生が1人でアンケートに回答して結果を公表する」といったように「限られた一部の職員が」「年に1度だけアンケートをして」「その結果を公表して終わり」というものではなく、「保育に携わる職員が積極的に関わりながら日々の保育を振り返り、それをもとに保育の質の向上を図る」ことが自己評価の目的であることが明記されています。

どのようなやり方がベストなのか、正解はないと思いますが、ぜひ1人でも多くの職員が、「大変かもしれないけれど」「やってよかった」と思える自己評価に挑戦していただきたいと思えます。

労働環境のことを少し

昨年、県では重点監督項目として、労働環境に注目して監督を行っています。例えば、①年次有給休暇は職員が希望する時季に取得させているか、②事

務作業をする時間の確保に努めているか、③休憩時間にきちんと休憩できるように職員配置や業務分掌を作成し見直しているか、④休憩時間中や自宅での勤務時間も含めた時間外勤務を把握し、手当を支給しているか、などです。

労働環境に関するアンケート

今年度、県が独自に行った調査では、「働きやすさに配慮した制度と雰囲気がある施設(例えば、有給休暇が1時間ごとに取得できるし、実際にみんなとっている)ほど、就学前の子を養育中の正規職員が多い」という傾向が見て取れました。

この調査で個人的に面白いと思ったのは、「1時間ごとの有給休暇を取得できる(制度がある)」だけでなく、「その制度を使って実際に1時間ごとの有給休暇を取得している職員がいらない」場合には、職員にとつての働きやすさにつながらないということが示唆された点です。

つぎは

保育現場では、急な有給休暇の取得希望、勤務時間中の事務時間の確保、休憩時間の確保、恒常的な時間外勤務など、いずれも構造的に根本的な解決が難しい面があることは承知の上で、実際に知恵を絞りながら解決に向けて柔軟に工夫して取り組んでいる施設があることも、監督を通じて見えてきました。県の職員として、そうした知恵や工夫が、県内の他の施設にも広がっていくために何ができるのか、考えていきたいです。

2020（令和2）年度 広島県保育連盟連合会役員名簿

Table with 4 columns: 役職, 名前, 施設名, 市郡. Lists various roles like 会長, 副会長, 総務部長, etc., and their respective names and affiliations.

2020（令和2）年度 保育施設緊急問題委員会委員長名簿

Table with 4 columns: 役割, 名前, 施設名, 市郡. Lists the chair and members of the emergency committee.

2020（令和2）年度 情報・認定こども園検討委員会委員長名簿

Table with 4 columns: 役割, 名前, 施設名, 市郡. Lists the chair and members of the information and kindergarten review committee.

2020（令和2）年度 広報「保育ひろしま」編集委員会委員長名簿

Table with 4 columns: 役割, 名前, 施設名, 市郡. Lists the chair and members of the public relations committee.

2020（令和2）年度 キャリアアップ検討委員会委員長名簿

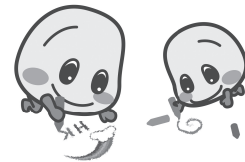
Table with 4 columns: 役割, 名前, 所属, 市郡. Lists the chair and members of the career advancement committee.

2020（令和2）年度 各専門部会名簿

Large table with multiple columns and rows, organized by department (e.g., 部会, 研修部, 広報部, 公私立) and listing members and their affiliations.

2020（令和2）年度 子どもと食事研究会委員長名簿

Table with 4 columns: 役割, 名前, 施設名, 市郡. Lists the chair and members of the children and nutrition research committee.



編集後記

新型コロナウイルス感染症予防のため、さまざまな行事について中止や延期を余儀なくされています。保育所（園）での大きな行事である「運動会」も、いつものスタイルでの開催は困難と判断された施設も多くあります。
行事を行うことは、子どもの経験や成長につながります。これからも新しい生活様式を意識しながら、今できることを見つけて子どもたちと色々な経験をしていきたいと思えます。

今回の「子育てノウハウBOX」では、コロナ禍での保育・研修のあり方を考えてみましょうと題し、コロナ禍での子どもの発達を保障していくための楽しいあそびや生活・環境の工夫を紹介しています。今年度、初めて広報部会に関わらせていただき、他の市町のコロナ禍での対応や工夫など知ることができました。たくさん

の事例をもとに環境の見直しなど参考にさせていただきながら今後の私たちのすべきことを考えていきたいと思っております。
(福山市 中原)



イラスト作 (さとちゃん)